

第40回 成沢ふれあい夏祭り



発行 成沢学区
コミュニティ
推進會
「ふれあい」

責任者 西 英 信
発行者 広 報 部



暑さに負けず!

令和5年7月29日
(土) 成沢学区コミュニティ推進會「ふれあい」主催の「夏祭り」が成沢小学校校庭で実施されました。

新型コロナウイルス感染症の終息を受け、今年には40回目の開催となりました。連日の猛暑の中、実行委員会主導の下に多くの方々協力での会場の設営や運営準備が進められました。夕刻4時に「ふれあい」西会長の挨拶で開会しました。早速、模擬店が賑わいを見せ、前半はステージでの2グループの演奏と子どもみこしで盛り上がり、後半は盆踊りと抽選会が行われました。踊りの輪には多くの家族連れや若者が加わり、抽選会では番号が読み上げられるたびに大きな歓声に包まれました。

予定通り午後8時に終宴となりました。
(関連記事2面へ)

お元気さん紹介⑬ 西成沢町 大越 健児さん

「パソコンも健康体操も」「自然体」



「青葉台パソコン勉強会」で表計算の問題集を解説する大越さん

流センターの「夏期パソコン教室」や視聴覚センターの「成沢パソコングループ」などで20年以上講師を務められました。

(89歳)、『忘れていた操作法を思い出せるので嬉しい』と気づきをメモする受講者。

そこにはお互いが気軽に教え合う楽しい雰囲気があります。

父親の縁で結ばれた同郷の奥様と青葉台生活は48年、お子様2人は遠地で活躍中です。仕事一筋だったご自身の生活環境や子育ての一切を支えてくれた奥様には感謝の気持ち一杯とのこと。

いわき市で生まれ、高2の夏に父親の転勤で上京。大学で電気工学を学び、日立製作所に入社。水力発電機的设计を手始めに、技術管理や発電所の保全計画、小水力発電開発など技術力を活かした業務を歴任されました。

友人から「きららホームページの会」に誘われたことが契機となり、パソコンの魅力に惹きこまれます。退職後は交

受講者の要望で立ち上げた青葉台の勉強会も12年目。『パソコンは次々と新しいテーマが生まれて退屈しない』とのこと。今、話題の「生成AI（文章や画像を作れる人工知能）」をどう役立てられるか、仲間と探る日々です。

毎朝のルーチンは、コップ1杯の水を飲み、ストレッチ体操とスクワット30回。朝ドラを見て、あとはパソコン三昧、気が向けば「近所をウォーキング。休日の晩酌で嗜む日本酒は2合ほど。

地域の人々との絆を大切に、「自然体」で生活習慣にしていく体操や趣味などが健康長寿の秘訣のようです。これからもご夫妻の安穏な生活が続くことを祈ります。



模擬店賑わう・迫力のビッグバンド



会場の成沢小学校の校庭に設置されたメインステージと、周囲に模擬店や休憩所のテントが配置され、イベントが進行しました。暑さが少し和らいだ午後4時から瀬谷実行委員長の司会

で「成沢ふれあい」西会長の挨拶で祭りがスタート。青少年育成推進会や親子連などの模擬店コーナーでは早々に家族連れなどが列を連ね、そばやホットドック、かき氷などを求め、的

当てゲームやヨーヨーなどで人気を集めていました。模擬店やステージ広場の横には休憩所が設けられ、賑やかに飲食、談笑を楽しんでいました。バルーンアートは今年も大人気でした。

バンド2組による演奏が行われました。同期入社の5人組ヒマナスターズは郷土の作曲家・吉田正のムード歌謡をしつとりと、続いて交流センターで練習しているファンタイ

メインステージでの演技では外部から招いた

ムビッグバンドが迫力ある演奏を披露し、場内から大きな拍手を受けました。その後、中央の広場では子どもみこしが行われ、小さい女兒たちも加わり、掛け声を掛けて場内を元気よく3周、家族や観衆から大きな声援を受けていました。



広がる踊りの輪・抽選会に歓声！



6時から目玉の盆踊り。成沢芸能保存会のお囃子から始まり、成沢音頭が流れる中、旧婦人会や民生委員有志の皆さんの先導で盆踊りがスタートしました。次第に模擬店や休憩所、



見学の人も加わり、大きな踊りの輪が広がっていきましました。久しぶりの踊りとあつて、浴衣姿の女性や年少の子どもたちの参加もあり、華やかなひと時となりました。踊りの後、7時30分からはお楽しみの大抽選会が始まりました。3等から特等まで、数多くの賞品が用意され、地元の渡部新聞店様からは多数の特別賞が提供されました。ステージ前には抽選券を手にも多くの参加者が集まり、抽選番号が読み上げられるたびに大きな歓声のため息



が上がっていました。先着100名の幼児には金魚のプレゼントもありました。午後8時にすべてのイベントが無事終了しました。



会場スケッチ ハプニングも！



◆本番当日と前後の準備・片付けの3日間は猛暑との闘いでした。日陰での頻繁な休憩と水分・塩分の補給などに配慮しました。◆創立150周年を迎えた成沢小学校が模擬店に参加され、浴衣姿の先生と子どもたちのジャンケン大会で大いに盛り上がりました。



◆大賑わいの模擬店には、近くの福祉施設等からも来訪された他、あちこちで久しぶりの再会を喜ぶ姿などがみられました。◆盆踊りが始まる前、場内整備でのホースからの散水に子どもたちが浴衣姿で身を乗り出して大はしゃぎするハプニングもありました。



夏休み子ども講座 思い出作りに挑戦!

物作り教室 茨大工学部の皆さん

7月26日(水) 10時から

成沢交流センター1号室で茨城大学工学部技術部スタッフによる「ドアプレート」作り講座が開かれました。小学1年生から6年生まで9人が先生方の個人指導を受けながら丁寧に一連の作業を開始。



ローマ字の型枠に自分の名前を1字ずつ流し込む。
②それを紫外線ランプで照射して固める。

①②の工程を繰り返して、必要な文字がそろったら台座の亚克力板に貼り付ける。文字の色づけや配列を考えて、子供たちは思い思いにカラフルな「ドアプレート」を作り上げました。普段ではなかなか体験できない工作に苦労しながら、夏休みの自由研究の一つ仕上げた満足感を味わえたようです。

工作 絵画教室 入江英子先生

7月31日(月)、成沢交流

センターで工作教室が開かれました。8名が参加し、入江英子先生の指導の下、ダンボールを織り機として使用し、色付きのタコ糸を織ってコースターを作りました。織るときの力加減が難しかったが、それでも2個作った人もいて、楽しい時間を過ごしました。

8月2日(水)には絵画教室が行われ、8名が参加し入江先生の指導を受けながら、学校や自由課題の絵を仕上げました。

4年ぶりに鮎川探勝会 青少年育成会

7月22日(土)、青少年育成推進会主催の「鮎川探勝会」が4年ぶりに実施されました。コロナ禍や雨天などで中止が続いていましたが、この日は好天に恵まれた上、水量も多くなく、スタッフや保護者を含め40名が参加しました。

大学橋下の小豆洗不動尊から川に入り、足を取られたり腰まで水に浸かったりと、ハプニングに遭いながらも無事に大学橋下まで全員が完歩し、爽やかな川歩きを満喫しました。



敬老者に地域振興券

今年も敬老会は実施せず「敬老長寿祝い事業」として対象者に地域振興券などが贈られます。

対象は80・85・90歳、及び91歳以上の方になります。(詳細は別途案内)

9、11月の行事予定

10月28日(土)～29日(日) 文化公演会・文化祭

編集後記

▼今年も夏祭りが開催され、模擬店やバンド演奏、盆踊りに抽選会と老若男女が真夏の半日を楽しんだ。猛暑の中、関係者の何日かに亘る準備に敬意を表したい。
▼新型コロナの収束を受け、夏休み子ども講座や夏祭りなどで茨大工学部や成沢小との交流が図られた。これからも深めていきたい。